

各 位

平成 12 年 4 月 18 日

東京都結核・感染症発生動向調査
企画委員会会長

東京都週報

14週(4月3日～4月9日)

発生動向総覧(東京都)・調査票通信
全数届出患者数一覧表
定点報告疾患集計(男女別)
年齢階級別累計表・保健所別累計表
感染症発生動向調査年次比較折れ線グラフ

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

発生動向総覧 (東京都)

14 週分

(全数情報)

細菌性赤痢 7 件はいずれも海外渡航歴があり、渡航先はベトナム 2 件、インド 2 件、マリ 2 件、ネパール 1 件である。マリ 2 件はツアー同行者で、菌型はソソネである。

腸管出血性大腸菌感染症 3 件はいずれも国内発生例で、毒素型は VT1 + VT2 である。アメーバ赤痢 2 件はいずれも国内発生例であり、1 件は同性間性的接触による感染が推定されている。

ウイルス性肝炎 2 件のうち 1 件は E B ウィルスである。もう 1 件は E 型が疑われており、海外での経口感染が推定されている。

デング熱 1 件は、医師の届出によればタイでの感染が推定されている。

(定点情報)

不明発疹症、流行性角結膜炎の報告は高めに推移している。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎についても患者報告が続いており注意が必要である。

(病原体情報)

感染性胃腸炎の検体から引き続き S R S V とロタウイルスが検出されている。

調査票通信

各保健所から集められたコメントを掲載

北 区

水痘 20 例、1 例のみ予防接種済み、約半数については同一の保育園の園児。他は散发例。現在のところ患者数は減少傾向。また、関係の保育園からは、年少のクラスに目立っており (年中クラスはすでに罹患済みが多い)、比較的軽症の傾向。

お知らせ

定点医療機関の皆様へ

平成 12 年 13 週 (3 月 27 日 ~ 4 月 2 日) より東京都週報は東京都立衛生研究所疫学情報室において、とりまとめております。何か不明な点がございましたらお問い合わせください。

全数届出患者数一覧表 14週

分類	疾病名	東京都分（報告日）				全国分（診断日）
		11週	12週	13週	14週	14週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	コレラ	1				
	細菌性赤痢	4	4	4	7	23
	ジフテリア					
	腸チフス		1			7
三類	パラチフス					
四類（全数届出）	腸管出血性大腸菌感染症			2	3	9
	アメ-バ赤痢	2	6	4	2	4
	ウイルス性肝炎（急性肝炎）	3	2	1	2	7
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病					1
	回帰熱					
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	3	8	5	5	7
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症		1			1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					
	デング熱				1	1
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	2	4	1	2	9
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
	マラリア		1	1		1
	ライム病					
レジオネラ症	1				5	

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(4/13集計)

定点報告疾患集計（男女別）

疾患名	性	週				累計
		11	12	13	14	
不明発疹症	男	6	6	3	10	25
	女	4	9	4	3	20
MCLS	男	2	0	0	1	3
	女	0	2	0	1	3
インフルエンザ	男	36	22	10	5	73
	女	34	29	4	4	71
咽頭結膜熱	男	0	2	0	0	2
	女	0	0	2	1	3
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	男	36	36	39	34	145
	女	34	34	26	25	119
感染性胃腸炎	男	677	511	430	415	2033
	女	640	508	441	388	1977
水痘	男	73	98	64	83	318
	女	61	67	71	88	287
手足口病	男	3	2	5	6	16
	女	3	0	4	6	13
伝染性紅斑	男	7	12	9	21	49
	女	8	6	11	12	37
突発性発疹	男	33	34	39	37	143
	女	34	40	33	34	141
百日咳	男	1	0	0	0	1
	女	1	0	0	1	2
風疹	男	2	2	2	4	10
	女	3	1	1	5	10
ヘルパンギーナ	男	8	6	4	6	24
	女	5	5	3	4	17
麻疹(成人以外)	男	3	4	4	3	14
	女	0	7	8	2	17
流行性耳下腺炎	男	28	32	41	36	137
	女	38	25	37	38	138
急性出血性結膜炎	男	0	1	0	0	1
	女	0	1	0	0	1
流行性角結膜炎	男	9	8	3	9	29
	女	14	4	5	4	27

「累計」覧は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです

年齢階級別累計表（平成12年14週）

	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
～6ヶ月	2					17	3	2	1	13							
～1歳	4	1				55	8		3	37				1			
1歳	1			1	1	115	29	1	2	20					3		
2歳	2				4	73	39	4	3	1		1	2		9		
3歳		1			7	84	16		2			4	1	2	11		
4歳					17	77	21	2	4						7		
5歳			1		11	56	32	1	4						17		
6歳			1		6	40	12		7			2		2	6		
7歳					7	44	4	1	2		1	1	1		6		
8歳					2	28	2	1	1						4		
9歳	2					18	1		1				2				
10～14歳						45	2		1						6		
15～19歳			1		1	22							2		2		1
20～29歳	2		1		3	129	2		2			1	2		3		2
30～39歳			2														3
40～49歳			2														3
50～59歳																	2
60～69歳			1														2
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	13	2	9	1	59	803	171	12	33	71	1	9	10	5	74	0	13
先週比	6	2	-5	-1	-6	-68	36	3	13	-1	1	6	3	-7	-4	0	5

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

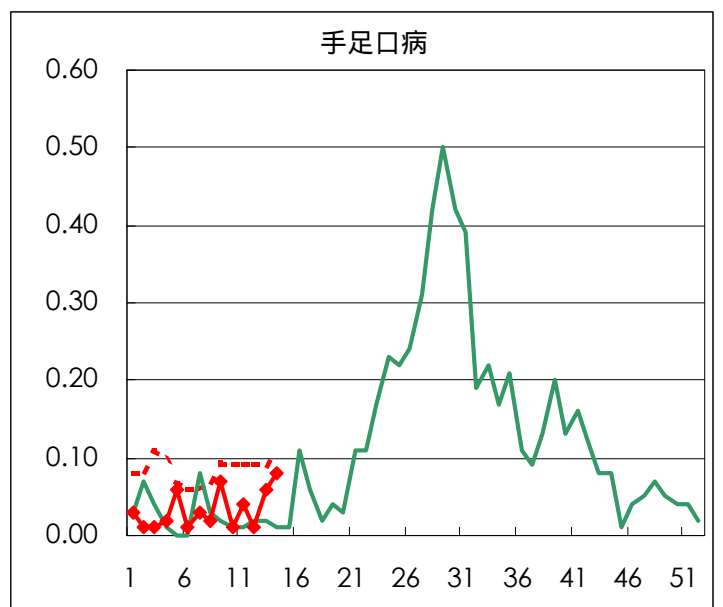
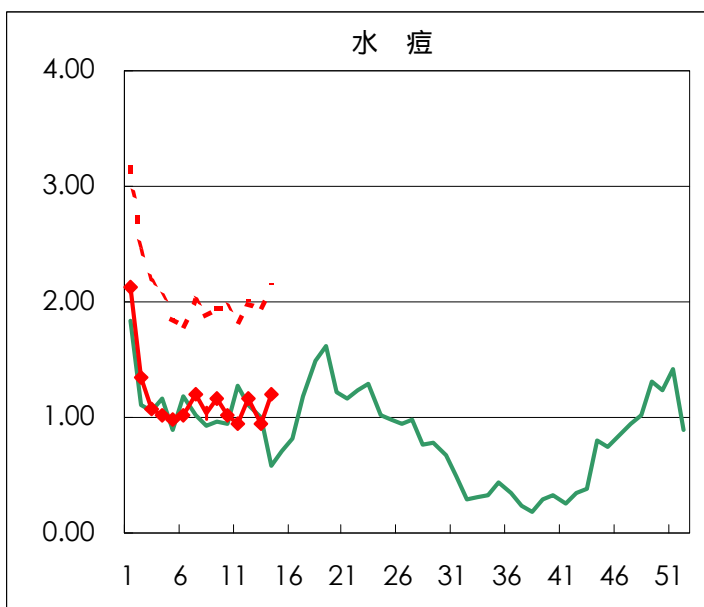
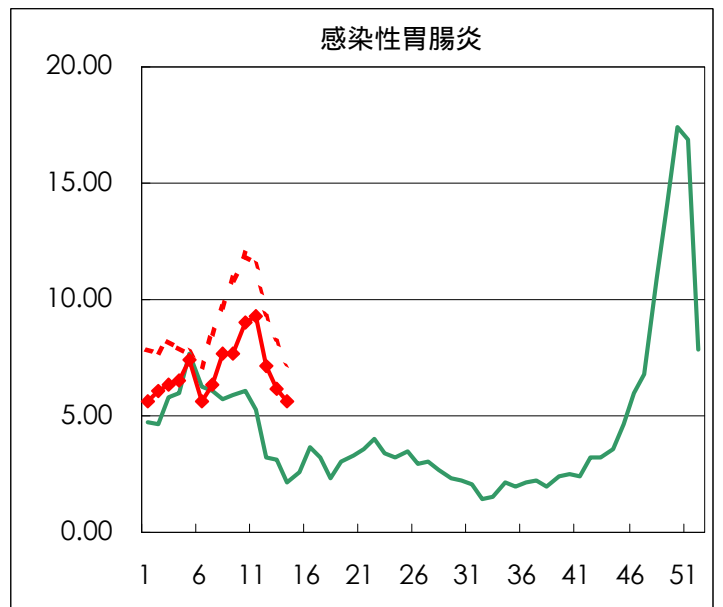
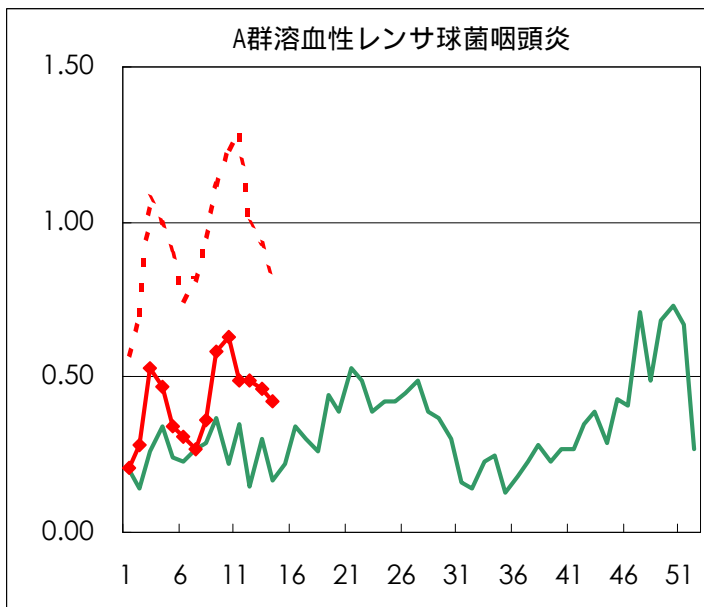
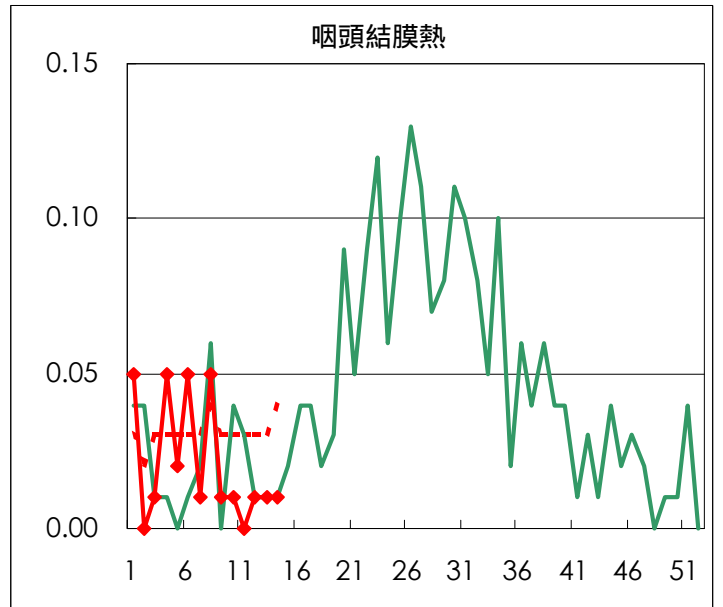
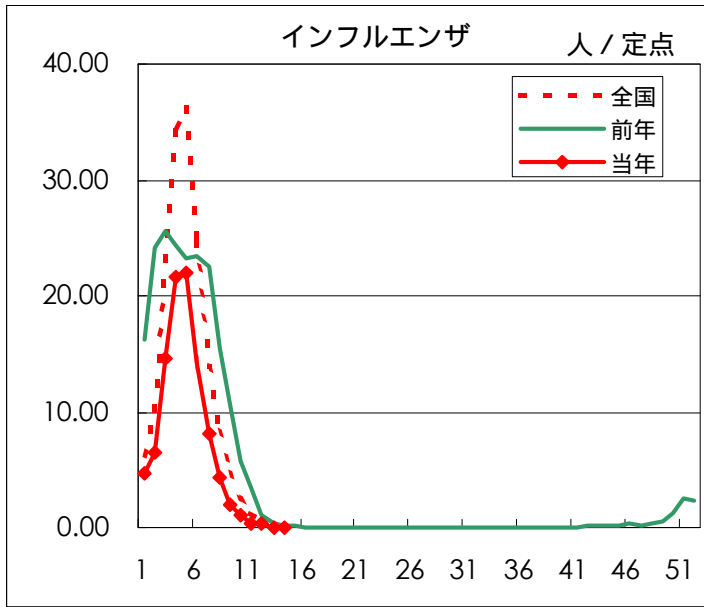
保健所別累計表 14週

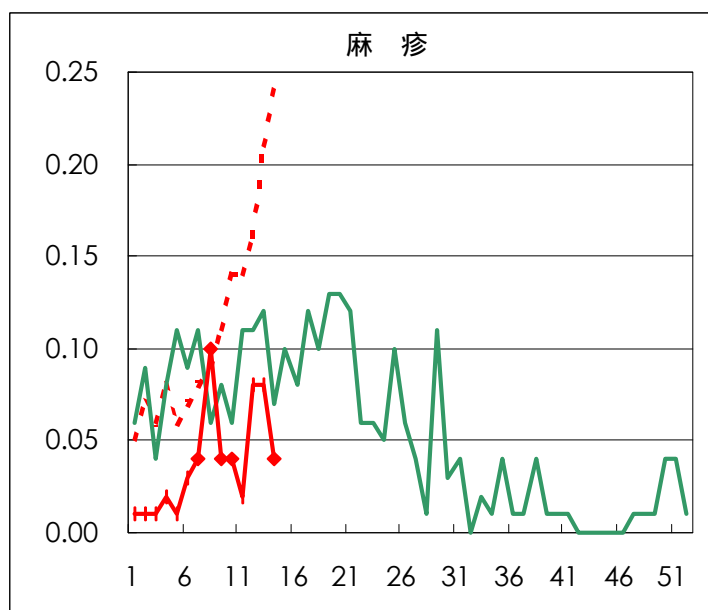
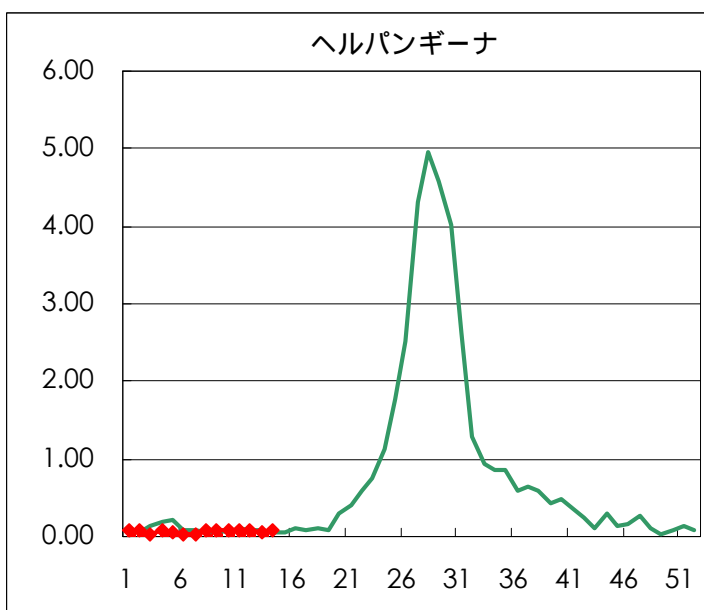
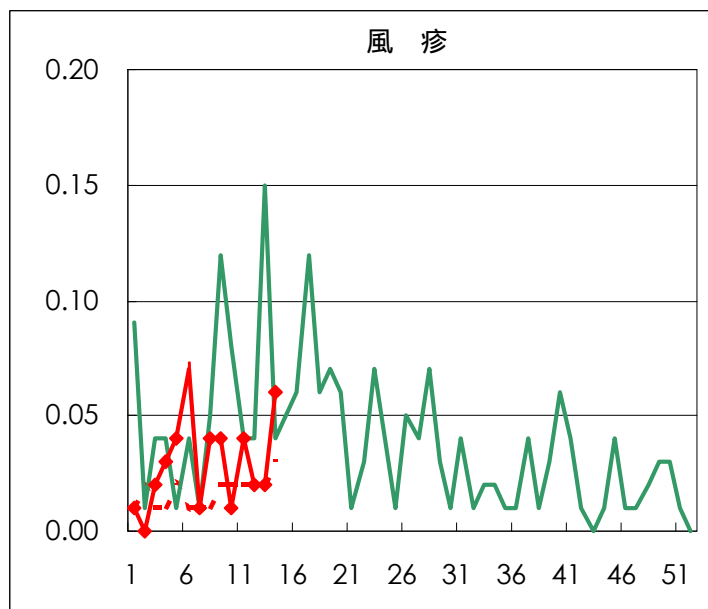
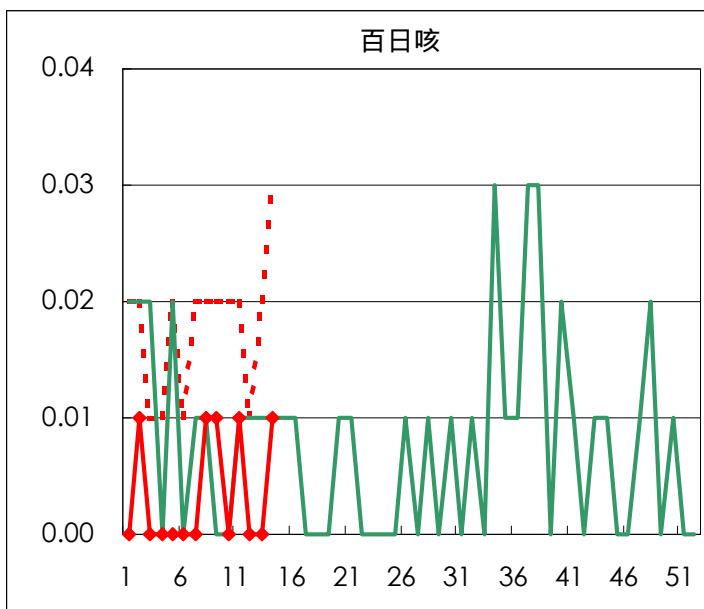
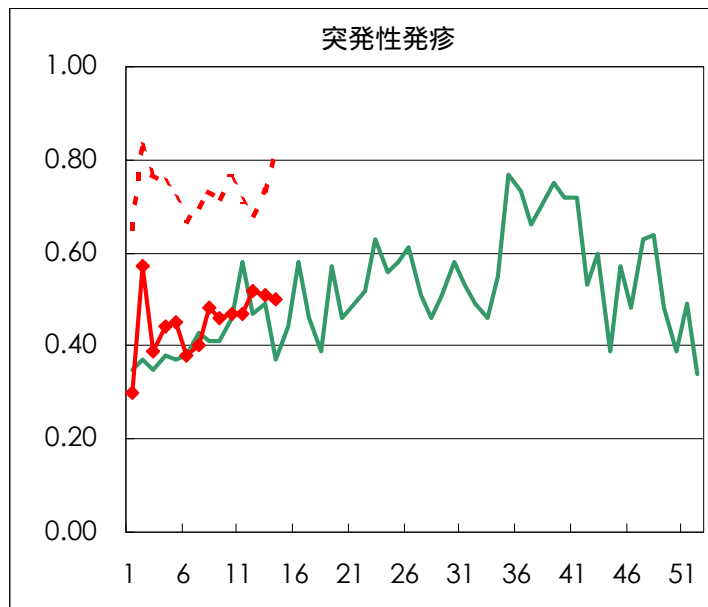
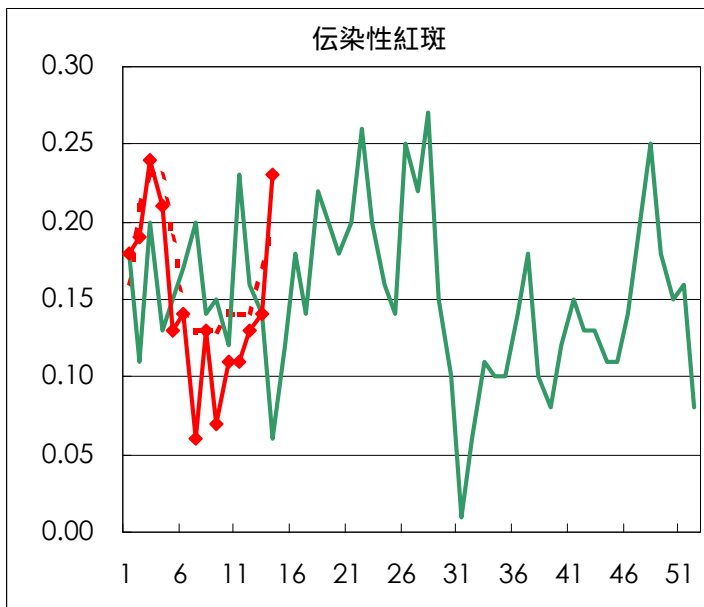
	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
中央	1					3		2	1									7
日本橋																		0
小石川			2		2	31	1										3	39
本郷																		0
向島						7	2											9
本所					1	10	2			1		1		1	1			17
城東	1					13									3			17
深川					3	10	4			1								18
世田谷	1		6			37	6		5	6					2			63
渋谷区					1	43	2			5								51
池袋						4							2		1		3	10
長崎						3	2			2					10			17
荒川	1					7			1	1		1					1	12
足立	1				4	31	8		3	3								50
千住																		0
葛飾			1		5	15	12	1	5	4		1			6			50
江戸川	4				2	22	2			3					1			34
小岩						5	1											6
台東					2	34	6		2	5					5			54
目黒区					1	8	1											10
大田区	1				4	64	16	5		5	1				4		1	101
杉並						13	3		2	1					1			20
北区					4	18	28		2	7					7			66
板橋区					1	34	4	1	1	3					2			46
みなと						2	3										3	8
中野区						50	8		1						2			61
新宿区	2	1		1	1	38	8		2			1			2		1	57
品川区					1	17	1			2					1			22
千代田	1					7	1			1								10
練馬区					3	29	9	3		1				2	3			50

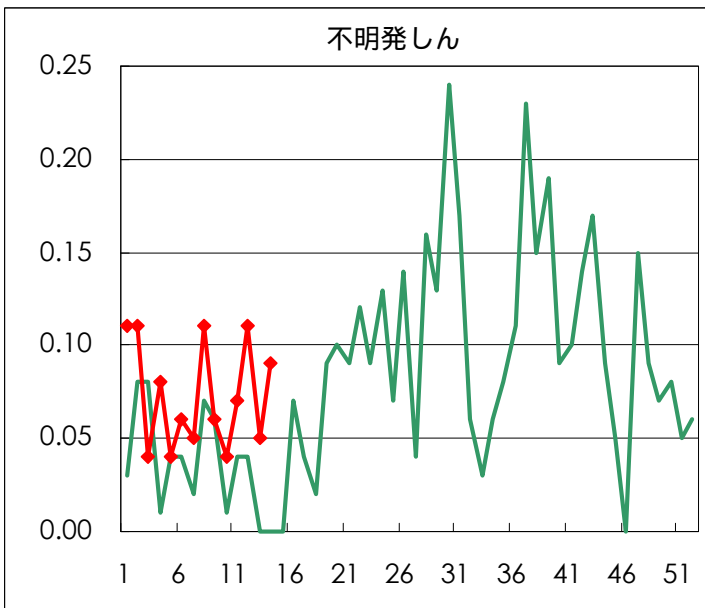
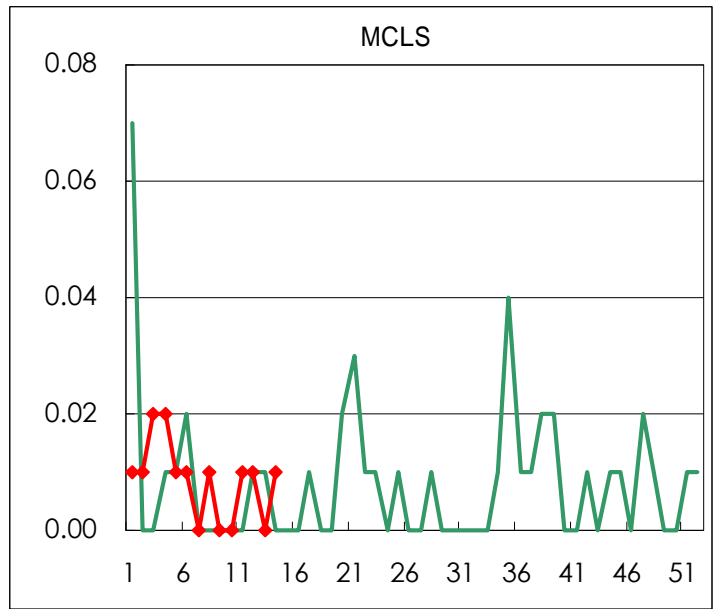
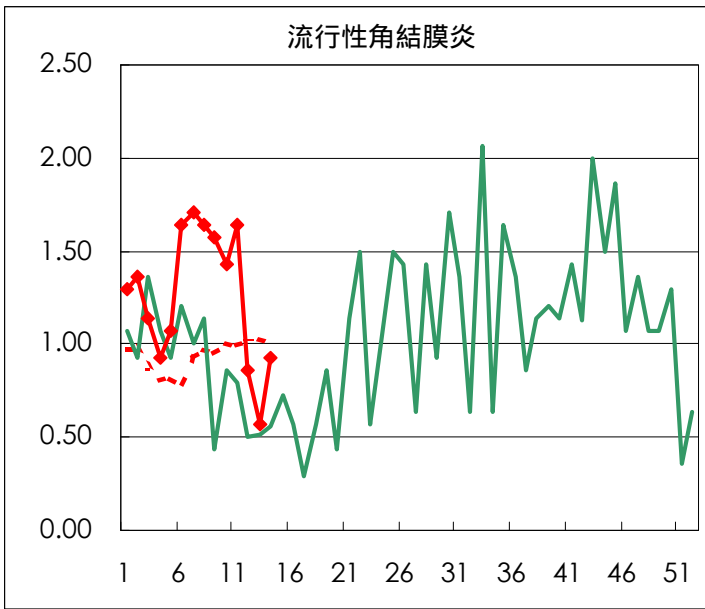
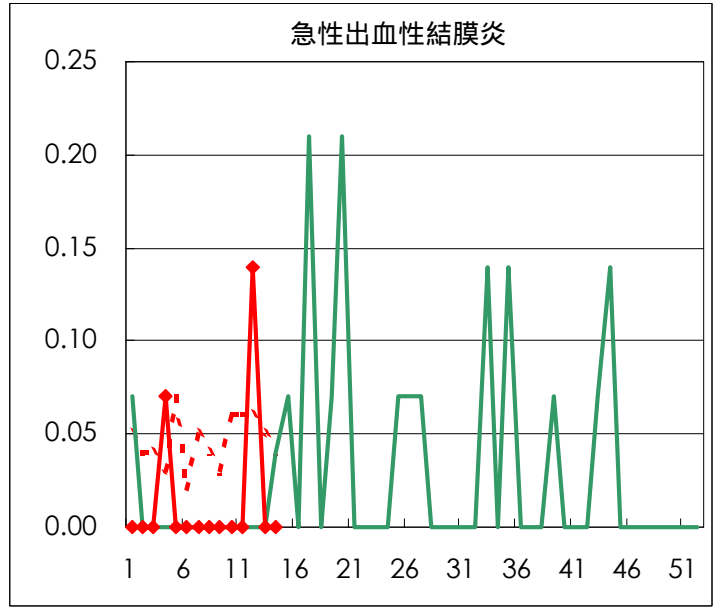
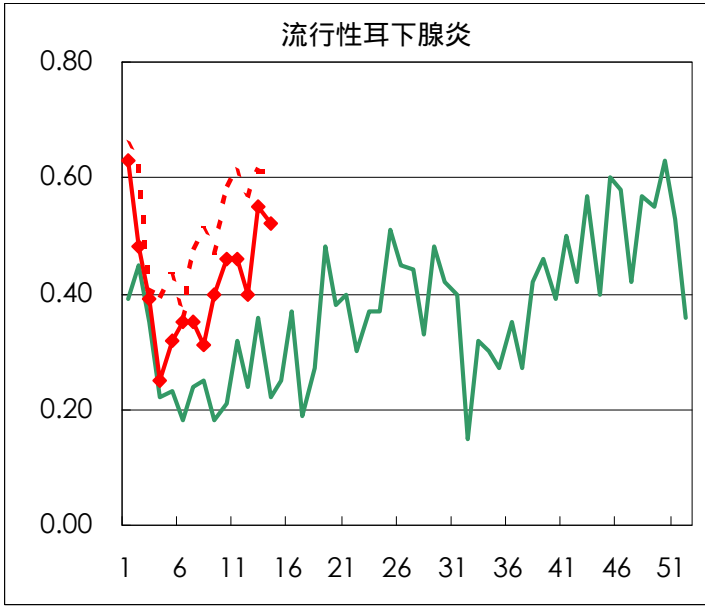
保健所別累計表 14週

	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
八王子						11	3								7			21
町田					3	34			2	3		3						45
島しょ						1												1
多摩川						25	2		6	4					3			40
秋川					12	29	15			5					4			65
南多摩					1	32	9			2			8		1			53
多摩立川					6	6	1								2			15
村山大和						8	1			1		2					1	13
府中小金井						5	3			1				2	1			12
狛江調布						19												19
三鷹武蔵野						11	3								2			16
多摩小平						43	2			1					2			48
多摩東村山		1			2	24	2			3					1			33

東京都合計	13	2	9	1	59	803	171	12	33	71	1	9	10	5	74	0	13	1286
定点当り報告数	0.09	0.01	0.05	0.01	0.42	5.65	1.20	0.08	0.23	0.50	0.01	0.06	0.07	0.04	0.52	0.00	0.93	9.06







< 感染症トピックス >

無菌性髄膜炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

無菌性髄膜炎の患者は例年夏を中心に増加し、その病原体はエコーウイルス (E)、コクサッキー B 群 (CB)ウイルスなどのエンテロウイルスおよびムンプスウイルスが主である。

1999 年 4 月に施行された感染症新法に基づく感染症発生動向調査では、全国約 500 の基幹定点が無菌性髄膜炎患者数を毎週年齢群別に集計報告している (1999 年 3 月までの旧システムでは月単位の報告であった)。また、基幹定点は同時に病原体定点であり、ここで採取された髄液、糞便などの検査材料から、地方衛生研究所 (地研) がウイルス分離同定を行っている。全国の患者データならびにウイルス分離報告を感染症情報センター (感染研) で集計解析し公表している。

1997 ~ 1999 年の最近 3 年間の髄膜炎患者から分離されたウイルスは、1997 年 1,780、うち E30 が 1,194、E9 が 164、CB3 が 76、1998 年 3,523、うち E30 が 2,832、E18 が 156、E11 が 116、1999 年 453、うち E6 が 116 であった (2000 年 2 月 28 日現在報告数)。

E 30 は 1983 年、1989 ~ 1991 年に全国的な大流行を起こした血清型で、1997 ~ 1998 年に再び大きく増加した。E9 は 1990 ~ 1994 年に流行した後 1995 ~ 1996 年は減少していたが 1997 年に増加した。CB3 は 2 ~ 4 年おきに増加している。E18 は 1988 年の大流行以来 10 年ぶり、E11 は 1993 年の流行後 5 年ぶりに 1998 年に増加した。E6 は 1992 年以來 7 年ぶりに 1999 年に増加した。

(文責 山下和予)